

おんじゆく





●発刊のこぼば

御宿町は、大正3年4月1日に町制を施行しました。「御宿」という名称については、鎌倉時代に北条時頼が諸国行脚のおり当地を訪れ、あまりの風光明媚さ

に1泊することになり、それにちなんで詠んだ歌に

御宿せし そのときよりと人とはば
網代の海に夕影の松
という古歌があり、この歌がそのまま地名になったといひ伝えられており、御宿の自然景観が多くの人に愛され、名士の往来がたえないゆえんであります。

その後、昭和30年3月31日、布施村の一部と浪花村岩和田地区が旧御宿町と合併を行い、新しい御宿町の誕生となり、以来30年を経過しました。

この間、社会・経済の急激な変化により、私たちの御宿町にも都市化の波が押し寄せ、町の姿は大きく変ぼうしてきま

した。また、住民生活も複雑多様化して、生活環境、教育、福祉など町政全般にわたる多くの課題に迫られています。

このような状況の中で町は、さらに充実した町づくりを推進するため、総合計画と観光振興計画を策定し、「住みよい豊かな町」へと希望をもってまい進しております。

この冊子は、町合併30周年にあたり、町の姿を正しく理解していただくためにまとめたもので、御宿町の現状と将来の町づくりの参考になれば幸いと存じます。

昭和60年3月31日

御宿町長 高梨 秀治



町章
(昭和40年制定)

地名の頭文字「オシ」をイメージしたもので、合併した3分町制が丸く融合し、未来に向かって大きく発展することを表わしています。

創案者 御宿町六軒町 藤江 真一

住みよい豊かな町づくり

輝ける未来へ



町の木 キョウチクトウ

夏の強い日差しをはね返すように紅く咲き乱れるキョウチクトウの姿は、青空をバックに強烈な印象をあたえてくれます。非常に丈夫な植物で、南国ムードを漂わせるその姿は、御宿の町並にマッチしています。



もくじ

住みよい豊かな町づくり 輝ける未来へ…1	
御宿新時代……………2	
町長をかこんでわが町の明日を語る	
エメラルドの海ときらめく太陽……………6	
房総を代表するリゾートタウン	
おんじゅくガイド (イラストマップ) ……10	
豊かな明日を求めて……………12	
産業の振興	
やすらぎとふれあいのある町づくり……………16	
保健・福祉の充実	
調和のとれた住みよい町づくり……………18	

生活環境の整備	
人間性を大切にしたい町づくり……………20	
教育・文化の向上	
明日の町づくりのために……………22	
行政・議会	
伝統が季節に彩りをそえる……………24	
御宿とアカブルコは姉妹都市です……………26	
御宿町30年のあゆみ……………27	
史跡・文化財……………32	
テータおんじゅく……………33	

町・長・を・か・こ・ん・で わが町



出席者のみなさん

岩上日出夫さん（岩和田	39歳 畳店経営）	白鳥 洋治さん（久保	34歳 材木店経営）
大谷 信之さん（浜	31歳 学習塾経営）	原田 頼子さん（新町	30歳 小学校教員）
君塚 俊成さん（実谷	36歳 酪農経営）	御宿町長 高梨秀治	
桜井 洋子さん（新町	30歳 小学校教員）		

御宿の現状と町の印象

町長 今日にはみなさんおいそがしい中、お集まり下さりましてありがとうございます。ご存知のように私どもの町は、60年の3月31日をもちまして合併30周年を迎えたわけでございます。

思いおこしますと合併前のわが町は農業、漁業、商業といった産業がだいたい平均化された状態で、どちらかというと特徴に乏しい町だったといえましょう。

それが昭和30年代からの、いわゆる高度経済成長期を迎え、大量消費の時代に移行するとともに、わが町は観光を中心とした観光レジャー産業の振興を図り、

町の産業の特徴として今日に至っています。

しかし、その間にみなさんご存知のオイルショックというできごとがありました。このオイルショック後のレジャー産業というものはやはり質的にずいぶん変化をきたしてきたわけです。これを端的に申しますと、まずそこに海水浴場があるからという理由のみでは、お客さんが来なくなったということです。これはその海がどのように美しい水と海浜を誇っていてもそれだけではいけないということで、そこにお客さん自身が参加し、体験することのできる施設というものが、観光地の中に必要とされてきたのです。この問題点は、わが町のこれからを考え

る上で非常に大事なポイントで、今後、わが町の観光をさらに時代のニーズに合った活性的なものとするべく鋭意努力しよ



高梨町長

の明日を語る



岩上さん

うと思っているわけです。

岩上 私は一時、東京に住んだ経験がありますので、外からみたわが町の印象をひとこと述べさせていただきたいと思えます。東京におりましてわが町をみますと、漁業を中心とした古い町という印象でした。これは昭和30年代の話ですが…。そして昭和40年代に入りますと御宿に民宿が出現してきました。この民宿というものは、当初は家族的な雰囲気運営していたものでしたが、今の民宿というものはちょっと営業的になってきています

● 今、町長のいわれた観光施設の充実ということにも関係しますが、これからは民宿のあり方も考えていくべきではないでしょうか。また、お客さんの車の収容施設の改善や、雨天や海で遊べない場合の施設づくりなども考えてもらいたいですね。

大谷 私としては、わが町というのは多少中途半端だな、という感想をもっているんです。これは東京からの距離とか、その歴史ですとか、あらゆる面で見ることだと思います。産業的にも御宿は農業の町でもあり、第三次産業的な町でもあるわけですし、この中途半端性をどう解決するかが、今後の課題ではないかと

思います。いいかえますと、今、御宿はひとつの時代から新しい時代への転換期にあるような気がします。

君塚 われわれ農村地区のいちばんの関心は、観光とともに物価という問題になりますね。同じ地域でも野菜の値が海浜部とその他の地域ではちがうことがありますので。それから観光の問題に関して私が気になることは、観光業にたずさわる家庭のお子さんたちの問題です。たとえば民宿などでは夏期になるとかきいれ時だということと、どうしても親は子の面倒をなかなかみれません。ですから青少年が集まる場といえますか施設をつくって、若い人が誤った方向に向かわないように指導しなくては、と思うしだいです。

桜井 私は高校を出てから10年間東京に住んで1年前に帰ってきましたので、自分が子供の頃の町と今の町との相違を少しお話したいと思います。

私が子供の頃の御宿という町は、子供の遊び場が豊富だったという印象があります。今は家が建て込んできましたし、海岸線に沿って大きなビルが多数建たら



桜井さん

れ、どうも子供の遊べる場所が少なくなってきたように感じられます。また、私は小学校の教員ですので青少年教育の面から意見をのべさせてもらいますと、民宿が増えるにしたがって親の目が行き届かなくなりますし、風紀面でも乱れが出てきます。民宿をするために家での子供の居場所を奪うようなことは望ましくないのではないかと思うわけです。

原田 私も子供がノビノビと遊べるような場所やハダシでかけまわれるようなオープンな施設がもっとあるといいと思



ます。緑も必要ですからね、子供には。
白鳥 私はこの町に住んで10年になるのですが、気候も温暖ですし、海の幸、山の幸にも恵まれていいところだと思います。しかし一方で住民意識がやや古く、あまり開放的でないという点もあるように思います。

町長 いろいろなご意見が出ましたが、それぞれの得もつともな意見と承りました。とくに大谷さんのご意見にあった御宿の中途半端さというものは、私も日頃痛感している点のひとつです。これを解決するには、ひとつには交通手段の問題もありますが、観光の御宿としての特徴を強く打ち出すための開発と人口減少の対策が最重要課題です。このような観点から今進めていますB地区開発は、現時点で98.5%の用地買収がすすんでいて、あと一步のところまでこぎつけているわけです。これが実現しますと、御宿の宅地開発と観光施設整備が進むこととなります。また、緑と自然の問題に関しては、松の苗を1世帯につき2本配布するという運動を3年間実施しております。

年間を通して 利用される観光地に

大谷 ここでフルシーズンの観光ということを考えますと、やはりお客さんたちの将来的ニーズをとらえることが必要だと思います。私の考えとしては、これからは観光のための観光地というよりも、現代人の最大欲求である健康や自然を前



君塚さん



面におし出した、住民にとっても快適な住環境づくりが必要になってくるのだと思います。とくに御宿の場合は観光業に従事している人よりも給与所得者のほうが多いわけですから、とくにそう考えなくてはならないのではないかと思いますね。

白鳥 シーズンオフの観光というものをもっと考えられていいかもしれないと思います。私は運動部の出身なものですから、シーズンオフでももう少し施設が整えば学生の合宿用に活用できるのではないかとこの気もするんですね。

岩上 もっとも重要になるのは施設、そして観光ルートのイメージ付けも大事だと思うんです。たとえばお寺めぐりなどを考えて観光ルートをつくるなどということも案外効果的じゃないかと思いますね。

原田 私はなんといいますか、もともとあるものを利用するだけでなく、観光商品を町民レベルでつくりあげていくという努力も必要なのではないかと思います。

桜井 夏だけではなくて冬の観光にも力を入れたらどうかしらと思うんですが。それというのも私は冬の御宿が好きなんです。冬のほうがどちらかというと夏の御宿にまさる点が多いのではないかと思います。秋のお祭りなどを軸にした冬の観光というものもなかなかよいのではないですか。

君塚 私が問題にしたいのは駐車場の少

なさです。駐車場がないとなるとやはり客足は鈍りがちになるのではないのでしょうか。また、御宿という町はいうまでもなく海の町なので魚や貝類が豊富です。それにもかかわらず魚や貝類の観光ベースでの活用のされ方が少ないようです。これはよくお客さんから聞く話なんです。忘年会シーズン（冬場）に御宿にくとおいしい魚が食べられる。でも夏場は食べられない。夏御宿にくる人はなんだか損した気分になるとね。（笑）

大谷 今、御宿は海の町だというご意見が出ましたけれども、考えてみれば日本という国は海に囲まれていて全国いたるところが海の町だといえなくもありません。ですから、わが町にも何かひとつ、観光都市としてのイメージが必要なのではないでしょうか。たとえば最近、大谷町では“れんげの里”というキャッチフ



大谷さん



原田さん

レーズをつくりましたが、ああいう形のイメージづくりというのはとてもよいと思うんです。

町長 わが町では現在、観光振興五か年計画というものを実施しております、施設や環境整備に町としてできる限りの努力をしていきたいと思っています。

また、観光商品をつくるということに関しては、つくる人はいるのだがそれを販売するところまで手がまわらないという問題点があります。駐車場の問題にしましては用地等の関係もあり、海浜より遠隔地に駐車場を設置せざるを得ないのが現状です。これらは観光のポイントをいかに絞ってイメージ付けに役立てるかという問題とともに、これから解決していかなくてはならないことだと思います。

地域の コミュニティづくり

白鳥 御宿は地域コミュニティの充実をはかる機会が非常に多い土地だと思います。職業と年齢という枠を完全にこえるわけにはいかないにしてもね。私などは若い人たちと交流する場はかなりあると思っています。

大谷 今、いわれた地域コミュニティという問題はなかなか難しい点を含んでいると思うんですね。たとえば老人がゲートボールをしている場によく行きあたるのですが、ゲートボール以外にも老人たちの長年の知恵というようなものを地域に還元していくような場があればいいの

にという気がします。

君塚 そうですね。たとえば竹トンボとか紙鉄砲など老人が子供につくってみせると子供たちも喜ぶんじゃないでしょうか。それからスポーツ施設を月に一度町民全員に開放するというようなことも地域コミュニティの結束を深めるのに役立つのではないのでしょうか。

桜井 小学生をみておると、今の子供は遊びを知らないんだなあ、という気がするわけです。そういうときに老人の生活の知恵を子供たちが知るということは非常に有意義なことだと思います。

原田 やはり地域コミュニティをこまやかなものにするには、町民の連帯感を深める行事ですとか、町民大会の開催などが効果的だと思います。また、お年寄りのことで考えますのは、お年寄りの知恵を地域に還元することもさることながら、お年寄りどうしの交流の場を考えることも大事なのではないでしょうか。

岩上 以前、私が子供会をやっていたときに竹トンボなどを子供につくらせたんですが、そういう活動というのはひとつの地域だけでひっそりとやっていると、そのままになってしまい発展しません。むしろ町全体として子供たちの活動の場をつくる必要があると思うわけです。また、町民大会というような形で地域ごとのタコあげを競うというような行事を行いますと地域の連帯といいますか、よい意味での競争心が芽生えて活性化する



白鳥さん

のではないかと思いますね。お祭りというのも非常に効果的だと思うんですね。たとえば子供のみこしを出すというような形にすると、子供にひかれて大人が出てくるというように自然発生的に町民の一致が図れるんじゃないでしょうか。

町長 もっともなご意見だと思います。町としてもそういったことに対応する時期にきていると思います。

今までみなさんから貴重なご意見をいただいていたわけですが、わが町の将来を考えると、観光開発に重点をおきながら、それを推進するにあたってのマイナス面を住民の総意でいかに抑えていくということが重要であると考えます。現在は、その過渡期になっていますので結果が現れるまでにはもう少し時間がかかるとは思いますが、今後とも町民のみなさんのご協力をお願いいたします。



エメラルドの海ときらめく太陽 房総を代表するリゾートタウン



サポテンを形どった観光シンボルタワー

どこまでも青く広がる海と澄みきった空。自然に恵まれた房総の中でも人気の高いリゾート、御宿。その四季にはそれぞれの顔があり、訪れる人々を楽しませてくれます。菜の花の香りとともにやってくる早い春、白砂のビーチを小麦色の肌がうめ
る夏、山海の幸がテーブルを彩る秋、海に沈む夕陽が郷愁をさそう冬…。御宿は多
彩なスポーツが楽しめるリゾートとして知られています。また、自然が届けてくれ
た数々の産物が並んだ朝市も人気があります。

いま、御宿はより魅力的なリゾートをめざ
して、ひとときわエネルギッシュ！

フルシーズン楽しめるリゾートに

全長2kmを誇る美しい白砂の御宿海岸は、数ある房総の海水浴場の中でも人気はナンバーワン。毎年5月の下旬に行われる海開きの多彩なイベントが夏の訪れを告げれば、御宿の海辺はたいへんな賑いをみせる。最近では海水浴のほか、サーフィンに訪れる若者も増えています。

この恵まれた自然環境を最大限に生かすため、御宿町では観光客がフルシーズン楽しめるリゾートづくりを進めてきました。現在、町営のテニスコートや野球場、プールなどの施設が整備されているほか、大原・御宿ゴルフコースでゴル

フを楽しむこともできます。

また、町と千葉県企業庁、西武不動産(株)が進めている夷隅建設事業では、開発B地区として住区1,700戸~1,800戸建設の他に大規模なテニスコートや森林公園遊歩道等のレクリエーションゾーンの建設も決定しており用地買収が進められています。海浜地区においても首都圏自然歩道をかねた海岸遊歩道の整備やジョギングコース、多目的広場、海女の仕事ぶりが陸から見られる展望公園など房総を代表するリゾートとしてふさわしい施設づくりを計画しています。

さらに宿泊施設の近代化や特産物販売などの充実化なども図り、多くの観光ニーズに対応していきたいと考えています。



月の沙漠記念公園のラクダの像





四季を通して楽しめる釣り



海岸ではパラ・セーリングも楽しめる



毎年100万人以上の海水浴客でにぎわう御宿海岸

名曲「月の沙漠」を生んだ メルヘンの町

中央海水浴場の一角にある「月の沙漠記念像」。この像は、詩人で叙情画家の加藤まさを（1897年～1977年）が淡い月光に浮かぶ砂丘に心動かされて作詞した名作、童謡「月の沙漠」の誕生を記念してつくられたものです。王子と王女が旅するふたつのらくだ像と三日月型の歌詩碑は、まさをと同郷の彫刻家・竹田京一の作。幻想的なこの像の前に立つ人を、ロマンチックな気分を引きこんでくれます。

詩情豊かな御宿の自然にひかれたのは加藤まさをばかりではありません。御宿の名刹妙音寺に身を寄せて「人生劇場・愛欲編」を書き上げた尾崎士郎。町をモチーフに童画風のあたたかい作品を残した谷内六郎。明治期にここを訪れ「御宿海岸」を制作した洋画家、浅井忠など…。昔から海と砂丘が織りなす御宿の風土に魅せられた作家は数知れません。このような作品が生まれた背景には、御宿の自

然が詩情あふれる豊かなものであることといえるでしょう。私たちは、この恵まれた“財産”をいつまでも大切にしていきたいものです。

黒潮に生きる 海女のふるさと

御宿は志摩、船倉と並ぶ、日本の三大海女地帯として知られています。紺がすりに磯パンツ姿、日に焼けたおおらかな笑顔。御宿を語るとき、黒潮に生きるたくましい海女の活躍を見逃すわけにはいきません。

海女たちの仕事は、5月中旬から9月中旬までの4か月間が勝負。この時期、海女たちは1日に約6時間ほど潜水中心の作業を行い、アワビやサザエ、ワカメなど、海の幸を採ります。1回の潜水を“いっぽん”といい、約2時間このいっぽんを繰り返すことを“ひとつべり”と呼びます。このひとつべりを平均で1日3回、つまり“みっべり”繰り返すのですから、たいへんな作業です。海女たち

の活躍は、ひたむきに働く御宿の人々の代名詞といっても過言ではないでしょう。

新鮮な海と山の幸

黒潮が打ち寄せる御宿の網代湾は、魚や貝など海の幸が豊富なことで有名です。漁船や海女によって水揚げされた活きのいい魚介類は、その日のうちにホテルや民宿のテーブルに並びます。また、最近ではキュウイなどの栽培も盛んで、新鮮な果実の味わいも楽しみのひとつに加えられました。

御宿町は、四季を通して楽しめる好釣り場としても人気があります。1～2月のイシモチ・ヒラメに始まって、クロダイやムツ、アジなど多彩な釣り魚が太公望たちを楽しませてくれます。

これら海や山の味覚は、美しい自然とともに御宿へ出かける人々の大きな魅力となっています。



観光客の玄関口となる御宿駅



御宿町歴史民俗資料館



メキシコ公園のメキシコ記念塔



アワビやサザエなどをとる海女



町堂のテニスコート



大原・御宿ゴルフコース



家族連れでにぎわう町堂プール

ズー・ム・ア・ツ・プ・おん・じ・ゆ・く

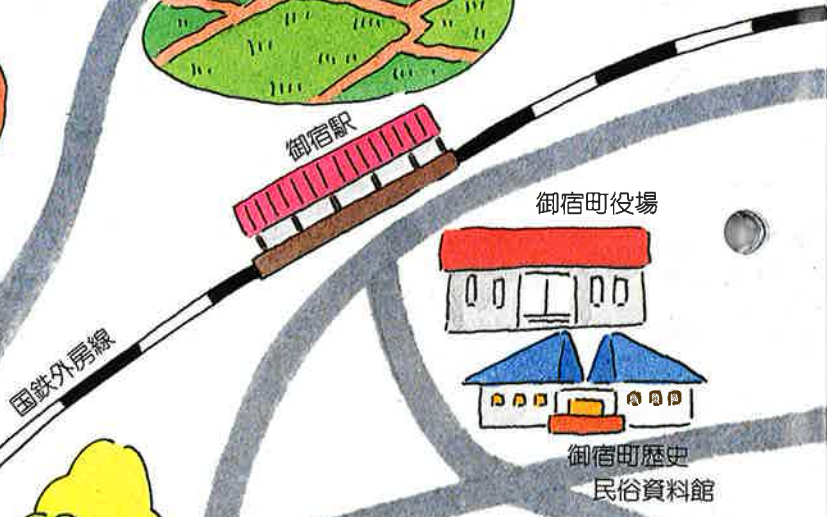
新鮮な磯料理

御宿を訪れた人々が、賞賛のことばを口にするのは、とれたての魚や貝などを盛りつけた磯料理。いずれも目の前の海から上がったばかりのものですから、活きのよさは格別です。御宿のホテルや民宿なら、どこでも味わうことができます。



おんじゅくガイド

RESORT FOR ALL SEASONS



至鴨川



大原・御宿
ゴルフコース

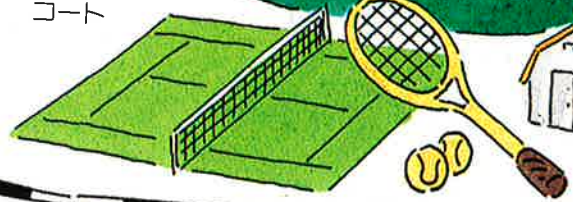


町営野球場

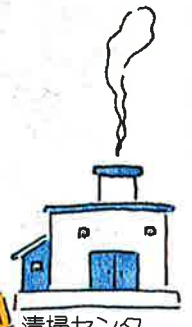


御宿家政高校

町営テニス
コート



B&G体育館



清掃センター

御宿小学校



中央公民館



御宿中学校



浅間神社

至大原・千葉・東京



朝市
毎月2と7のつく日
の朝7時~11時半頃
まで開かれる

岩和田小学校



海洋生物環境研究所



至大原・千葉

岩和田海水浴場



岩和田漁港



メキシコ
記念公園



田尻海岸

小波月 大波月海岸



豊かな明日を求めて

効率のよい漁業へ

房総沖は、日本の漁場の中でも指折りの好漁場で、御宿の漁業も多くの水揚げを得て高い収益をあげています。近年は、漁船の近代化も進み、漁業無線や魚群探知機などの活用で効率的な漁業が行われ、

水揚げ高も年々増加しています。また、人工魚礁をつくったり稚魚の放流なども行われ、安定した漁獲量を得られるように力をそそいでいます。

現在、御宿町には岩和田と御宿のふたつの漁業協同組合があり、互いに協力しながら、漁船や漁具の整備、流通機構へ

の効率的な出荷などに努めています。

今後は、さらに近代的で効率のよい漁業への発展を進めながら、首都圏などの消費地と効果的な流通を図り、収益率の高い漁業生産基盤の形成を従事者のみなさんとともに推進していきます。



御宿港に停泊する漁船



整備された岩和田漁港



水揚げされたカツオ



稚貝の放流作業



カツオの水揚げで活気づく御宿漁港

都市近郊型の農業へ

御宿町は、近隣に有力な消費地を控えています。このため、各農家では以前の稲作中心の農業から、野菜や果実の栽培などの商品作物への生産転換を進めています。

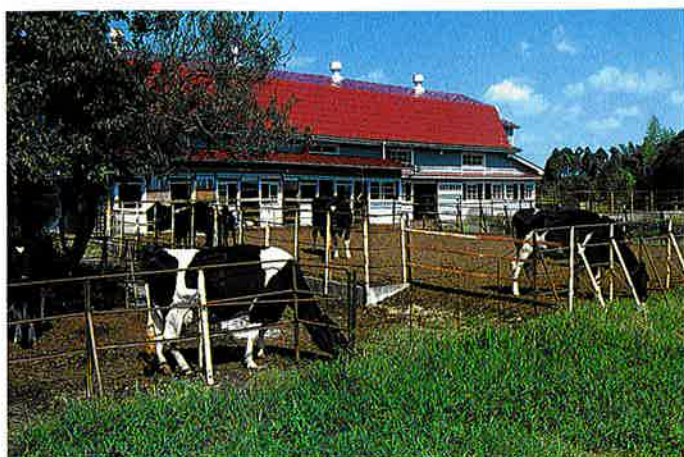
これまでも御宿町では、農林道や耕地の整備を進めてきましたが、今後は観光農園など新しい農業づくりも図りながら、生産性の向上を推進していきます。また、農協や従事者のみなさんとも協力しながら、流通機構への効果的な出荷や農作業の近代化を進め、安定した高い収益を上げられる都市近郊型農業の形成を促進します。



稲の収穫作業



キウイの収穫



酪農風景



農林道の整備



毎月2と7のつく日の7~11時には朝市が開かれ、多くの人出でにぎわう



町内の買物風景

魅力ある地域の商業づくり

近年は、生活意識の変化や情報伝達のスピード化などにより、消費者のニーズや動向も大きく変化してきました。こうした現状の中では、地域の人々が求める商品が地元で購入できるような商店づくりが必要になってきます。そのためには、商店が新しい商品情報をすばやくキャッチし、求められる商品を効率よく販売できなければなりません。

地域経済の発展を図るためには、商業の活性化は重要なポイントになりますので、今後も商工会や商店のみなさんと協力しながら、地域の商店を魅力あるものにしていきます。

ズー・ム・ア・ツ・プ・おん・じ・ゆ・く

名産、特産物

御宿を訪れた人に好評な名産・特産物は、海の幸なら魚の干物や、ワカメなどの海藻類。山の幸なら春の山菜。山の幸とはいがたいけれど、最近では、だんだん栽培が盛んになってきたキュウイがちょっとした人気をよんでいます。



やすらぎとふれあいのある町づくり

健康な町づくり

近年、急速な生活環境の変化によって病気の内容も複雑化してきました。このため、病気の予防と早期発見を図る各種健康診断や予防接種の実施を進めるほか、専門職員による健康相談などを行っています。

活力のある明るい町づくりは、住民の健康がいちばんです。そのためにも誰もが明るい毎日をおくれるような健康づくりを推進していきます。

誰もが生きがいのある毎日を

社会情勢や経済情勢の変化などによりお年寄りや心身障害者、母子家庭などの弱い立場にある人たちを取り巻く情勢は厳しいものとなってきました。

御宿町では、こうした実情をふまえて、地域の誰もが明るく生きがいのある毎日をおくれるよう、お年寄りのための寿大学の設置、ホームヘルパーの訪問、母子家庭の援助などを行い、相互扶助のもとに心のこもった福祉活動を展開しています。



幼児の検診風景



お年寄りのお世話をするホームヘルパーさん





ゲートボールを楽しむお年寄り



お年寄りの生きがいがづくりの場となる寿大学

調和のとれた住みよい町づくり

上水道の整備

水は日常生活や産業の振興にとって不可欠なものです。御宿町では、昭和53年に上水道の給水が始まって以来、計画給水区域全域への給水をめざして、上水道施設の整備を進めています。今後は設置されている地区の加入率増加に努めながら、事業の拡充を図っていきます。



浄水場

衛生的な環境づくり

快適な暮らしを維持し、美しい自然を守っていくために、御宿町では環境保全に力を入れています。近年は、生活排水の河川流出などが問題となっており、観光地の性格をもつ御宿町にとって環境保全は重要な課題です。

合理的なゴミ・し尿処理

ゴミの排出量は年々増加の傾向にあります。このため御宿町では、昭和59年12月に1日16時間稼働で60tの処理能力をもった近代的な清掃センターを建設しました。

し尿処理においては、近隣の町と共同で処理を行っています。また、浄化槽についても管理指導を進めていきます。



近代的な清掃センター

道路・交通網の整備

道路・交通網の整備は、地域産業の振興や今後の観光客誘致にとっても不可欠なものであり、町の発展にとっても重要なポイントとなるものです。現在、国道、県道の整備については、関係機関に働きかけ、道路の拡幅や歩道の取りつけを進めます。今後は、ガードレール、反射鏡、照明灯の設置など、国道と結びついた生活道路の整備を図っていきます。

河川・橋の整備

町内には、いくつかの小河川があって雨水などの自然排水の役目をしています。ふだんは、あまり水量の多くない河川なのですが、降水時などには重要な役割を果たしますので、河床や護岸の整備も進めなければなりません。また、河川に架かる橋も近年の自動車交通の増加に伴い、安全な通行ができるように整備が進められています。

安全な地域づくり

地域のみなさんが安心して毎日の生活をおくるためには、日頃からしっかりとした防災体制を整えておかなければなりません。

消防については、消防団や近隣市町の消防署と協力しながら、早急な消火活動が行える体制づくりを進めるほか、予防思想の普及に努めていきます。

また、近年増加の傾向にある交通事故については、児童やお年寄りを中心に各種の安全教室、講習会など行うほか、横断歩道や標識の整備も進めます。



火災に備えての消火訓練



災害に備えての避難訓練



河川の護岸整備



保育園児の交通安全指導

人間性を大切にした町づくり

学校教育の充実

町の将来を担う子供たちの教育は、豊かな人間形成の第1歩として重要なものです。そのためには、すべての子供たちが充実した教育が受けられるように環境・施設の整備を推進していきます。

また、近年は幼児教育に対する期待や要望も高まっており、保育所の充実も重要な課題になっています。

今後も、幼児・学校教育とも広い視野からの施策を進め、内容の質的向上を図りながら、学校・家庭・地域社会が一体となった教育体制づくりに努めていきます。

社会教育の促進

町民ひとりひとりが、さまざまな知識や人々とのふれあいを深める機会となる社会教育は、年々充実が望まれてきています。そのためには、青少年、成人、高齢者などの各年代にふさわしい社会教育体制を確立していかなければなりません。

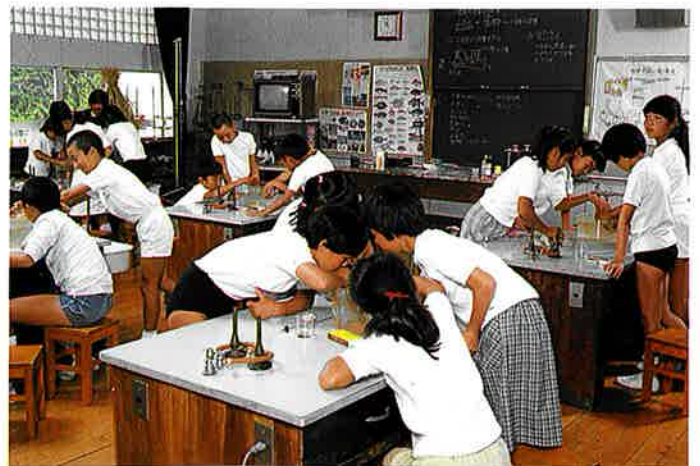
現在、御宿町では公民館や地区の集会所を中心に各種の講座や教室、サークル活動が行われています。今後は拠点施設の整備充実を進めながら、活動している人々への助成などを行い、充実した社会教育体制づくりを進めます。

コミュニティの形成

コミュニティの第1歩は、地域住民による相互理解です。そのためには、身近なふれあいの場をできるだけ多くつくり、住民相互の交流を深めていくことが必要です。現在、御宿町では、祭りやスポーツ活動などが盛んに行われているほか、各地区での行事も活発に行われています。また、町内運動会やゴルフ大会など町全体で交流を深める場も増えてきています。今後は、こうしたコミュニティの中心となる団体やリーダーの育成にも努めながら地域ぐるみの交流を推進します。



保育所の給食風景



小学校の授業風景



御宿中学校柔剣道場



公民館で行われる料理教室



長野県野沢温泉村との海と山の子交流事業



子供会のソフトボール大会（町営グラウンド）



地域のコミュニティを深める体育祭

ズー・ム・ア・ツ・プ・おん・じ・ゆ・く

●四季の釣り

フルシーズン楽しめる釣り場として好評な御宿では、1～2月のイシモチ、ヒラメにはじまって、3～4月の海タナゴ。5～6月のイシモチ、シロギス。8月のクロダイ、アジ、ムツ。9月にはハゼ、イナ。そして10～11月のカイズ、クロダイと文字通り1年中が釣りの絶好シーズン。季節ごとに御宿の海を訪れる太公望たちも少なくありません。



明日の町づくりのために

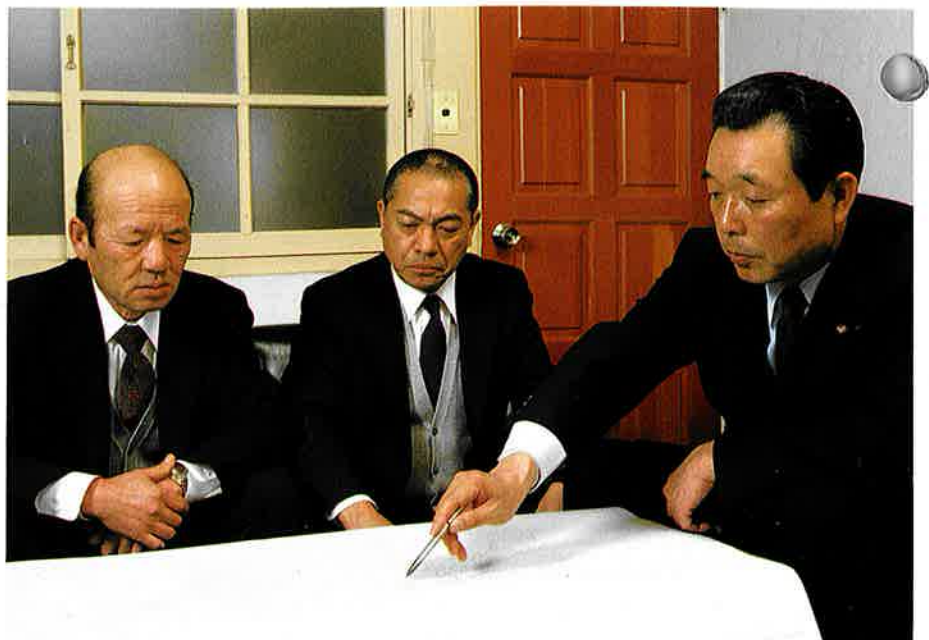


住民課の窓口

調和のとれた地域行政を

近年、御宿町を取り巻く社会環境や経済情勢などの変化とともに、町民のみなさんからの行政に対する要望や期待も多様化してきました。このような状況の中で地域行政をスムーズに進めていくためには、住民と行政が相互に理解を深めていかなければなりません。

御宿町では、この現状をしっかりと受け止め、調和のとれた行政運営を的確・スピーディに進めて行きます。また、財政運営についても効果的な利用と計画性を重視していきます。さらに地域のコミュニケーションを深めるための広報・広聴活動の充実にも心がけながら、積極的な行政運営を進めていきます。



右から高梨町長、池田助役、岩瀬収入役



御宿町議会

地域の声を生かして

明日の御宿町を明るく住みよい町にするために、町民のみなさんから選ばれた16人の議員が、町政運営の方針や予算、条例などを審議します。

議会は年4回の定例会と必要に応じて開かれる臨時会によって運営されており、議員は各常任委員会に所属し、専門的な立場から調査、活動などを行っています。

また、町民からの請願や陳情などの審議も行い、行政との協調をとりながら、公正な町づくりを進めています。



行政と住民とのコミュニケーションを図る「広報おんじゅく」と「議会だより」

議会議員名簿 定数16人/現員16人

職名	議席番号	氏名	所属常任委員会名	住所	所属政党	職名	議席番号	氏名	所属常任委員会名	住所	所属政党
議長	1	君塚 秀雄	◎総務	浜 451	無所属	副議長	9	岡村 甲純	○教育民生	久保 2028	無所属
	2	貝塚 徳治	産業建設	新町 168	無所属		10	井上 浩一	総務	高山田 805	無所属
	3	岩崎 栄一郎	総務	岩和田 1047	無所属		11	吉野 寅造	産業建設	実谷 210	無所属
	4	白鳥 時雄	総務	浜 2163	無所属		12	佐藤 高二	教育民生	上布施 2159	無所属
	5	神楽 祐司	○総務	岩和田 1128	公明党		13	永野 三郎	○産業建設	岩和田750-2	無所属
	6	関野 正治	◎教育民生	岩和田 1058	無所属		14	鶴岡 清二	産業建設	須賀 481	無所属
	7	安藤 義信	教育民生	岩和田 906	無所属		15	井上 泰爾	教育民生	高山田 1831	無所属
	8	鶴岡 光雄	◎産業建設	須賀 597	無所属		16	藤井 昇	総務	新町 776	無所属

※所属常任委員会名の欄中◎印は委員長、○印は副委員長を示す。

伝統が 季節に彩りをそえる

「ホラヤッサ！ ホラドシタ！」威勢のいいかけ声が響きわたり、ハッピ姿も勇ましく大小のみこしが町内をねり歩きます。そして、それを取り巻く人・人・人。春日神社、犬宮神社の秋祭りは圧巻です。子供たちが参道に並ぶ夜店を楽しみにしている浅間様のお祭り、古式ゆかしいお神楽が演じられる春日神社の初ごもり

など、御宿には古くから伝わるたくさんの祭りがあります。

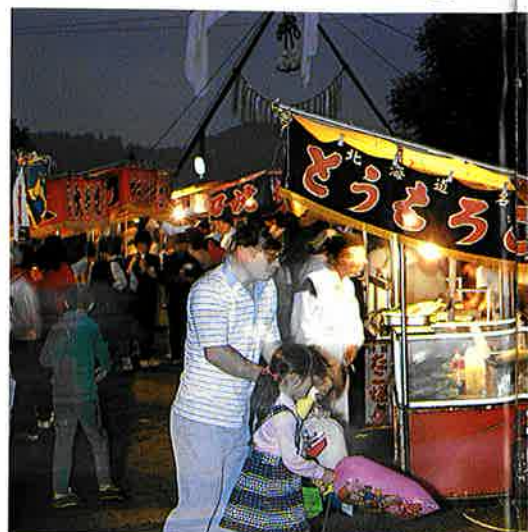
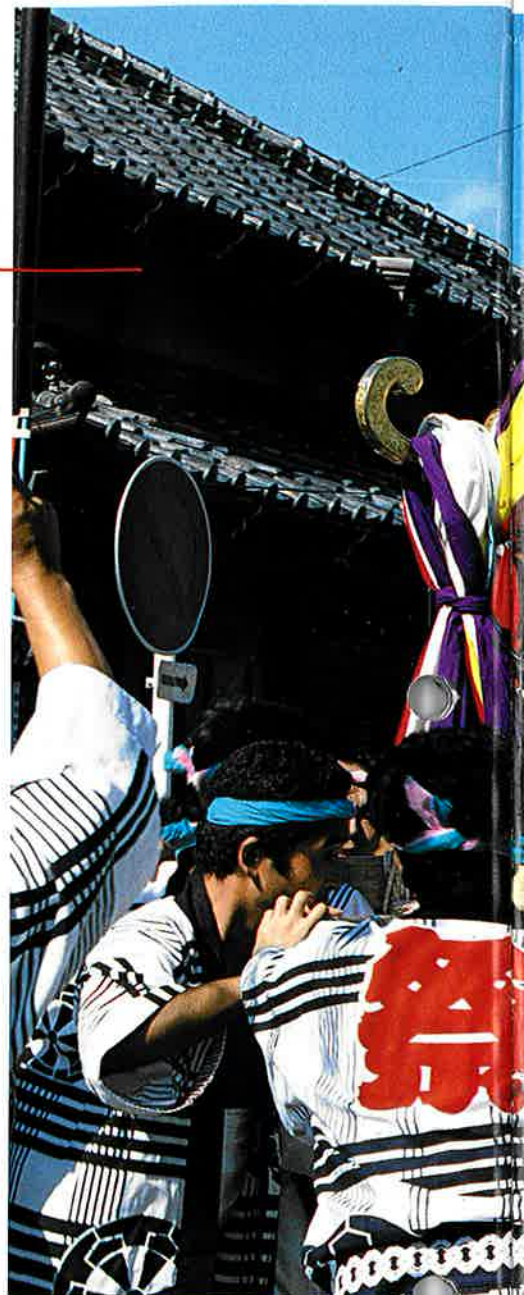
豊かな自然が育ててくれたおらかな気風の中で、町の人々が互いに喜びをわかちあい、ふれあいの輪を広げられる。御宿の祭りは、ふるさとの香りそのものです。



古式ゆかしい春日神社の獅子舞



元気いっぱいの子供みこし



夜店もにぎやかな浅間様のお祭り

町内を激しく練る大宮神社の秋まつり



春日神社の秋まつり



◆御宿主要歳時記◆

- 1月1日 元旦 歩こう会
早朝に公民館を出発し、メキンコ記念塔まで約2kmの道のりを歩きます。
- 1月12日 初ごもり
春日神社に古くから伝わる神事。氏子の安泰と網主の豊漁が祈願されます。
- 3月13日 虚空蔵様
幼児の罐の虫封じとして有名。町外からも子供の健康を願う人でにぎわいます。
- 5月中旬 海女解禁
海女さんたちの仕事始め。アワビ・サザエ・ワカメなどを採ります。
- 5月下旬 海開き

- 毎年さまざまな趣向をこらしたイベントで、夏のオープンが告げられます。
- 6月29日～7月1日 浅間神社七つ子参り
子供たちのすこやかな成長を願う祭りで、参道には夜店も並びます。
- 7月7日頃 天王祭
七夕の頃に行われる八坂神社、大宮神社の祭礼で豊漁を祈願します。
- 9月28・29日 秋祭り
春日神社、大宮神社の祭礼で、大小のおみこしが町内をねり歩きます。
- 10月1日 豊年祭り
布施、実谷地区で行われ、ひよっとこや鬼の面が子供たちを喜ばせます。

ONJUKU



ACAPULCO

御宿とアカプルコは姉妹都市です。



アカプルコのコンデッサビーチ

● 永遠の友好のために… ロペス大統領来日から7年

昭和53年11月1日、歴史とロマンに満ちた白亜のメキシコ記念塔のそびえるメキシコ記念公園をメキシコ大統領ホセ・ロペス・ポルティエリョ氏が訪れてから、早くも7年がたちました。メキシコと御宿町との友好関係は、1609年フィリピン

からメキシコへ向けて航海中台風のため遭難し、岩和田海岸へ漂着した帆船サンフランシスコ号の乗組員を、海女たちが献身的な努力により救助したことに始まります。その後、このできごとを記念するメキシコ記念塔の建設が行われ、御宿町とメキシコ・アカプルコ市の姉妹都市協定の締結にいたりました。そしてロペス大統領の来町で、両都市の親善はさらに深まりました。

これからも私たちは、メキシコ記念塔を誇りとして、末永く交友親善の関係を深めていきたいと思ひます。



アカプルコは四季を通して温暖な気候



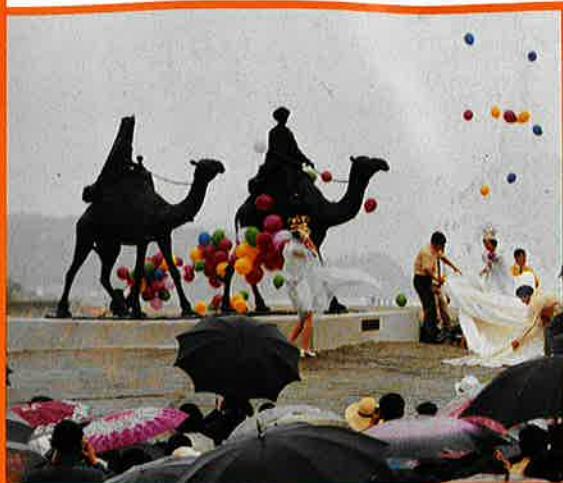
● 姉妹都市アカプルコのあらし

国際空港をもつ常夏の国際的リゾートとして世界にその名を知られているアカプルコ。首都メキシコからは、南へ約430 kmの位置にあります。青い海と美しく広がる白いビーチをもつアカプルコは、雨やくもりの日がほとんどなく、1年中海水浴や水上スポーツが楽しめる南国の楽園です。また、ゴルフ、テニス、乗馬、闘牛など、多彩なレジャーが楽しめる都市となっています。

御宿町30年のあゆみ



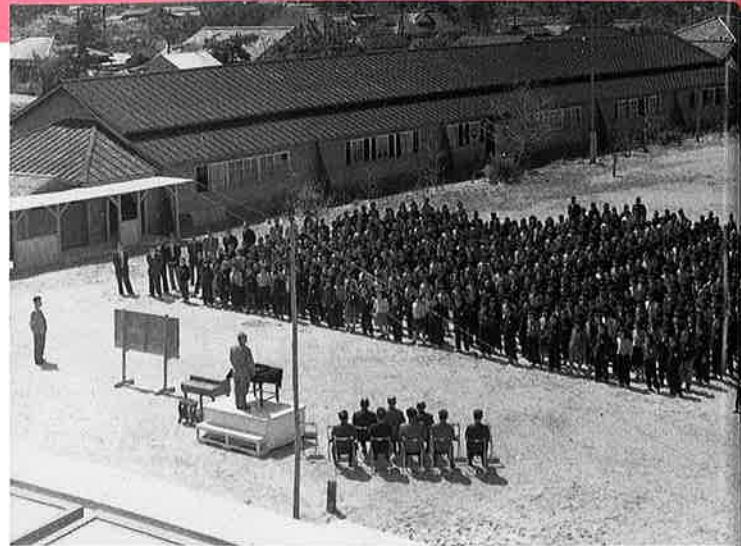
御宿町は、昭和30年3月31日に当時の町村合併促進法に基づき、旧御宿町と浪花村の一部（大字岩和田）、布施村の一部（大字七本・実谷・上布施）が対等合併して誕生しました。以後、町を取り巻く社会情勢や経済変動など、いろいろなできごともありましたが、基幹産業である農・漁業の飛躍と恵まれた自然を生かした観光事業を中心に発展を続けています。



御宿のあゆみ



昭和33年 合併記念の春まつり（浅間神社）



昭和33年 御宿中学校の増築工事が完成

昭和31年10月10日 御宿中学校校舎落成。

昭和34年 2月16日 大日本消防協会長より消防団表彰される。
5月10日 忠霊殿顕彰慰霊祭を小学校校庭にて挙る。

昭和36年 4月1日 有線放送新設工事竣工、放送開始。
5月23日 大雨のため須賀町営住宅付近の清水川が氾濫。

30

昭和30年 3月31日 町村合併促進法に基づき、御宿町と浪花村の一部(岩和田)と布施村の一部(七本・実谷・上布施)が対等合併し、新しい御宿町が誕生。

5月18日 新御宿町長に井上文吉氏が就任。

5月22日 町村合併により、布施・岩和田を統合し、新御宿町消防団が発足(初代団長君塚俊氏)。

12月15日 町営住宅を建設。



昭和35年 豪雨による被害のようす

32

昭和33年 4月8日 御宿中学校校舎増築工事完了。
11月27日 日西墨交通発祥記念碑改修工事竣工。

昭和32年 3月1日 国民健康保険制度を創設。

33

34

35

昭和35年 3月1日 町営バスの運行開始。保育園児・小中学校の児童・生徒を送迎。

3月28日 岩和田小学校校舎増築工事竣工。

11月24日 豪雨により河川が氾濫、耕地の冠水、土砂崩壊、道路の決壊、下床上浸水家屋多数。

36



昭和39年 建設が進められる御宿漁港

当時の主なできごと

昭和30年6月1日／1円硬貨が発行される。
 31年10月19日／日ソ国交回復。32年1月29日／南極に昭和基地が建設される。33年12月23日／東京タワーが完成。34年11月19日／学童の交通整理に緑のおばさん登場。35年9月10日／カラーテレビの本放送開始。36年4月12日／ソ連が初の有人人工衛星を打上げ。37年8月12日／堀江謙一が小型ヨットで太平洋単独横断。38年4月1日／小中学校にミルク給食開始。39年10月10日／東京オリンピックが開幕。40年9月24日／国鉄がみどりの窓口を開設。41年6月30日／ザ・ビートルズが日本で公演。42年2月11日／建国の日が制定される。43年6月26日／小笠原諸島が日本に復帰。44年7月20日／アポロ11号で人類が月に到達。



昭和40年 御宿中学校の体育館が完成

昭和41年1月1日 御宿・布施農協が合併し、新御宿農協が発足（初代組合長神定喜一氏）。

4月30日 漁民住宅竣工。

8月6日 御宿ブルース発表会

11月22日 日西黒交通発祥記念碑が県教育委員会より県文化財（史跡）として指定される。

昭和43年4月13日 上布施地区の消防4分団（小幡・立山・新久井・新宿）を統合。
 7月4日 昼間消防力補強のため御宿町役場消防隊が発足。



昭和40年 じん芥焼却場完成（久保・丸山地先）

昭和38年6月29日 御宿駅が大正2年6月の開業以来50周年を迎え、記念式典を挙げる。

37

昭和37年8月25日 小学校前通りの舗装工事が大場善蔵氏の寄付で完成。「大場通り」と称す。

昭和39年4月30日 新機構のもとに御宿町観光協会が発足（初代会長に金井英一氏を選出）。

10月1日 岩瀬国松氏が奨学金として町に100万円を寄付（岩瀬奨学金制度）。

11月17日 御宿漁港竣工。



昭和41年 御宿ブルース発表会

38

39

40

41

42

43

44

昭和40年2月21日 久保・丸山地先にじん芥焼却場完成。

3月31日 町村合併10周年記念式典。町章を制定。

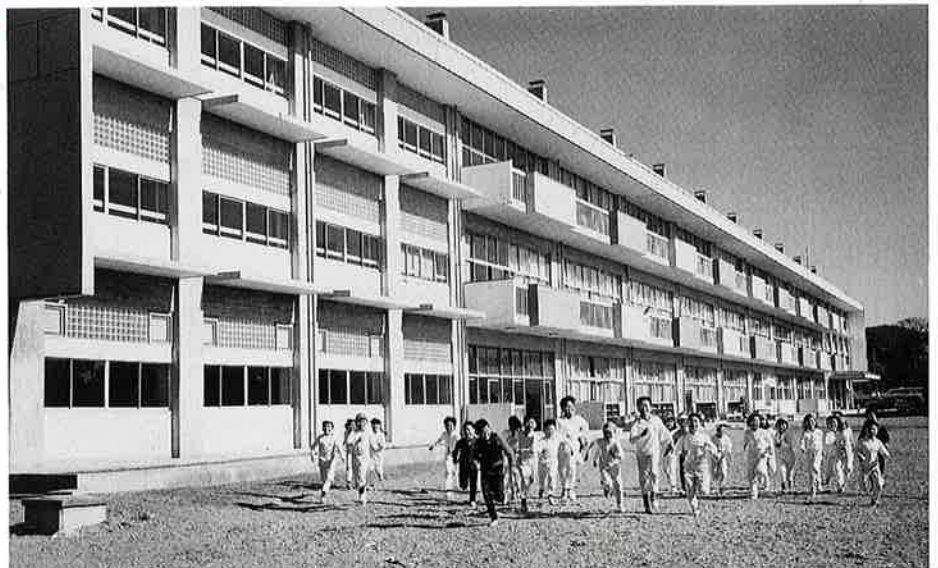
4月1日 夷隅高校御宿校舎独立し、県立御宿家政高等学校となる。

4月30日 御宿中学校体育館竣工。

昭和44年7月6日 月の沙漠像完成除幕式。

昭和42年2月11日 16年ぶりの大雪。
 5月15日 町長に岩井敏夫氏就任。

11月25日 御宿小学校校舎落成。
 12月18日 前町長井上文吉氏が名誉町民に推挙される。



昭和42年 御宿小学校の新校舎が完成



昭和46年 台風25号による被害



昭和53年 メキシコのロベス大統領が来町

昭和47年 7月13日 国鉄外房線電化完成。
祝賀列車運行。

昭和45年 4月3日 御宿小学校体育館落成。

昭和48年10月1日 組合立布施小学校校舎落成。

10月15日 小さな親切運動推進本部発会式を御宿小学校体育館で行う。

11月27日 じん荼処理場より出火、山林11,000㎡を焼失、損失額3,001千円。

昭和52年10月12日 岩和田小学校体育館落成。

45

46

47

48

49

50

51

52

昭和46年 2月8日 ごみ焼却場竣工。
3月20日 町営プール竣工。
3月31日 御宿保育所落成。
4月25日 御宿町長選挙、岩井敏夫氏再選。
9月8日 台風25号により、7日夜から8日朝にかけて600mmに達する記録的豪雨、町内各所で大被害。

昭和49年 7月24日 御宿町火葬場竣工。

昭和50年 3月31日 御宿町歴史民俗資料館竣工。

3月31日 合併20周年記念式典。

昭和51年 4月30日 岩和田保育所落成。
8月9日 「海と山の子交流」野沢温泉村との生徒交歓会はじまる。



昭和50年 御宿町歴史民俗資料館が竣工



昭和53年 御宿町公民館完成



昭和53年 上水道の給水が始まる



昭和55年 町営のテニスコートが完成

当時のまなできごと

昭和45年3月15日／日本万国博覧会が開幕。
 46年8月27日／円が変動相場制に移行。47年2月3日／札幌オリンピック開幕。48年1月27日／ベトナム和平調印。49年8月8日／ウォーターゲート事件でニクソン大統領辞任。50年3月10日／山陽新幹線開通。51年1月31日／鹿児島で5つ子が誕生。52年9月3日／王貞治がホームラン世界記録756号を打つ。53年8月12日／日中平和条約締結。54年1月13日／国立大学共通一次試験始まる。55年8月19日／新宿でバス放火事件発生。56年3月20日／神戸ポートピア開幕。57年8月8日／参議院の全国区比例代表制法案が成立。58年2月4日／日本初の実用静止型人工衛星、さくら2号aが打上げられる。59年11月1日／新札が発行される。60年3月14日／東北・上越新幹線が上野駅まで延長される。

昭和57年3月11日 布施小学校体育館落成。

4月7日 B&G財団御宿海洋センター竣工。

6月1日 御宿町結婚相談所開設。

10月29日 夷隅建設事業A地区ゴルフ場オープン。

昭和59年1～2月 2月17日に大雪、交通機関などマヒ。

12月6日 清掃センターが完成。

53

54

55

56

57

58

59

60

昭和53年5月5日 御宿町公民館が完成。

8月7日 アカプルコ市(メキシコ)と姉妹都市調印。

11月1日 メキシコ大統領ホセ・ロペス・ポルティエリョ氏来町(メキシコ記念塔建立50周年記念式典)。
 11月30日 御宿町上水道通水式。

昭和55年7月5日 町営運動場(野球場)完成。

8月31日 町営テニスコート完成。

昭和58年4月24日 御宿町長選挙、高梨秀治氏再選。

6月21日 町議会議員の定数を18人から16人に削減することを決める。

昭和60年3月30日 御宿中学校柔剣道場完成。

3月31日 町合併30周年を迎える。



昭和59年 清掃センターが完成



昭和60年 御宿中学校 柔剣道場が完成

ちょっと、ふりかえってみませんか

史跡・文化財

いつも通いなれた道から、時にはちょっととそれてみて、いままで知らなかった御宿を歩いてみませんか。やさしい顔の仏像やひっそりたたずむお地蔵さん…。それまで気づかなかった情景が発見できるかもしれません。

御宿は、歴史のある寺や神社も多い町です。平安時代に建立された春日神社、北条時頼ゆかりの最明寺、室町時代の大日如来坐像のたたずむ真常寺など、古人のロマンを現在に伝えています。

御宿町歴史民俗資料館には、昔の農・漁具や生活用品などが展示されており、当時の暮らしを知ることもできます。また、館内の五倫文庫には、江戸時代に寺小屋で使われていた書物、明治・大正・昭和の教科書などの貴重な資料も保存されています。

(史跡・文化財一覧表は40ページに掲載)



御宿町歴史民俗資料館



多彩な展示物のある館内



資料館に展示されている
海外の教科書

資料館に保存されている 江戸・明治時代の教科書



春日神社の杜

データ おんじゆく

<p>人口密度</p>  <p>1km²に328人(59年10月1日現在)</p>	<p>家族</p>  <p>1世帯に3.3人(59年10月1日現在)</p>	<p>転入</p>  <p>1.2日に1人(59年中)</p>	<p>転出</p>  <p>1日に1人(59年中)</p>
<p>結婚</p>  <p>9.6日に1組(59年中)</p>	<p>離婚</p>  <p>33.3日に1組(59年中)</p>	<p>出生</p>  <p>4.8日に1人(59年中)</p>	<p>死亡</p>  <p>4.6日に1人(59年中)</p>
<p>火災</p>  <p>発生なし(59年中)</p>	<p>交通事故</p>  <p>9.2日に1件(59年中)</p>	<p>水道使用量</p>  <p>1人1日平均144.4ℓ(58年度)</p>	<p>ゴミ</p>  <p>1日平均19.6t(58年度)</p>
<p>町職員</p>  <p>町民80人に1人(59年4月1日現在)</p>	<p>教員</p>  <p>小学生20人に1人 中学生20人に1人(59年5月1日現在)</p>	<p>商店</p>  <p>11.6世帯に1店(57年6月1日現在)</p>	<p>たばこ</p>  <p>1日に69,000本消費(59年中)</p>
<p>自動車</p>  <p>3.3人に1台(59年4月1日現在)</p>	<p>電話</p>  <p>2.7人に1台(59年4月1日現在)</p>	<p>救急車出動</p>  <p>4日に1件(59年)</p>	<p>町の台所 (59年度一般会計当初予算)</p>  <p>町民1人当りの予算額 285,517円 町民1人当りの税負担 58,728円</p>

地 勢

●自然と地勢

観光の町、御宿は房総半島の東南部に位置し、気候は極めて温暖です。西北、北、北東は、山岳に抱かれ、東南は太平洋に面し、その海岸線は、変化に富んだ景勝地としてよく知られています。

●御宿町の位置と面積

極 東	東経 140度23分21秒
極 西	東経 140度18分24秒
極 南	北緯 35度10分10秒
極 北	北緯 35度13分15秒
面 積	25.05km ²



(勝浦測候所)

●気象状況

昭和59年	平均気温 (℃)	平均湿度 (%)	平均風速 (m/s)	最多風向	降 水 量 (mm)	天 気 日 数			気 温 (℃)	
						晴	曇	雨・雪	最 高	最 低
1月	3.8	53	3.9	北北西	61.0	21	6	3	13.2	-2.6
2月	3.1	56	3.6	北北西	103.5	12	11	6	12.3	-5.0
3月	5.9	63	3.8	北北西	139.0	15	8	8	17.3	-1.9
4月	11.1	73	3.7	北北東	109.0	11	14	5	20.7	1.8
5月	15.7	79	3.3	北北東	44.5	9	17	5	23.0	8.1
6月	20.4	85	3.4	北北東	382.5	4	14	12	25.9	15.4
7月	24.7	82	2.4	東北東	25.0	19	10	2	30.9	16.8
8月	26.1	79	2.5	南南西	8.0	25	5	1	32.2	20.6
9月	22.3	82	2.7	北北東	109.5	15	10	5	29.6	14.3
10月	17.4	73	3.5	北北西	156.0	9	15	7	27.1	5.2
11月	12.9	69	3.6	北北西	111.5	11	13	6	22.5	3.9
12月	8.5	60	3.6	北北西	119.0	17	10	4	19.0	-1.5

人 口

●地区別人口と世帯数

(昭和59年10月1日現在)

地区別	区 分	世 帯	人 口 (人)		
			男	女	計
須 賀		323	466	502	968
浜		289	436	484	920
高 山 田		89	165	163	328
久 保		320	506	570	1,076
新 町		442	620	722	1,342
六 軒 町		232	347	378	725
岩 和 田		449	734	826	1,560
七本・実谷		126	245	256	501
上 布 施		209	392	415	807
計		2,479	3,911	4,316	8,227

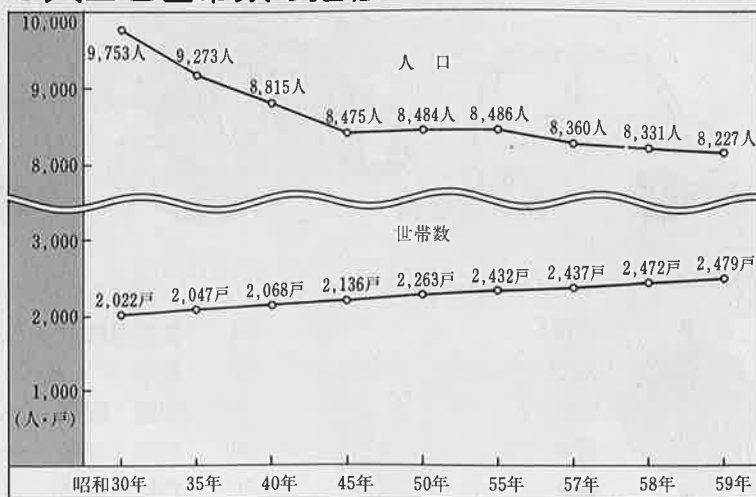
●5歳階級別人口

(国勢調査)

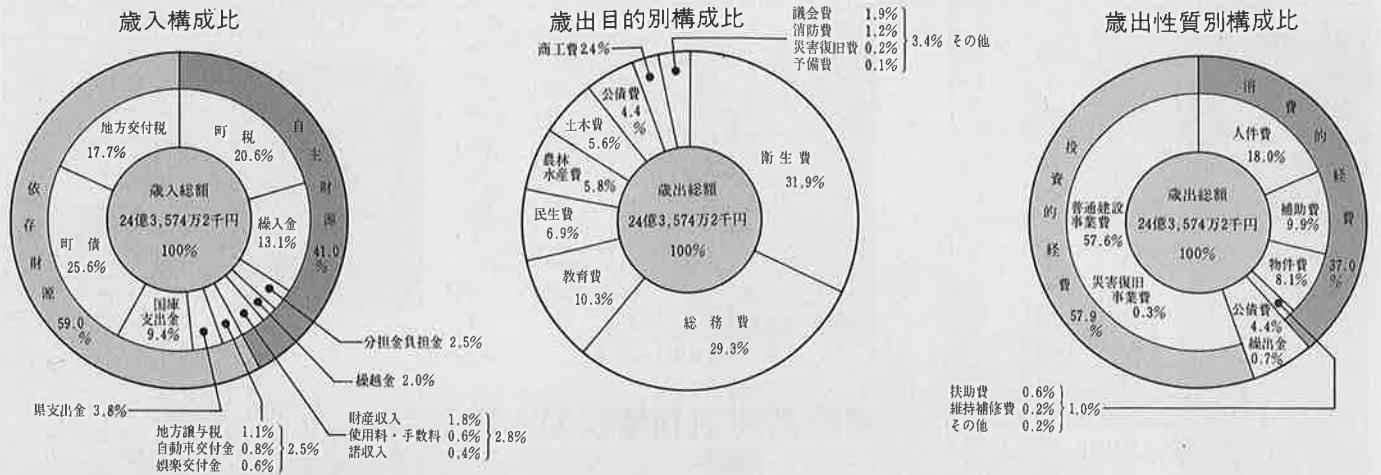
年齢	年	30年	55年
0 - 4歳		1,038	513
5 - 9		1,274	621
10 - 14		1,121	612
15 - 19		706	531
小 計		4,139	2,277
20 - 24		644	370
25 - 29		721	484
30 - 34		596	665
35 - 39		560	516
小 計		2,521	2,035
40 - 44		516	579
45 - 49		469	635
50 - 54		479	686
55 - 59		454	542
小 計		1,918	2,442
60 - 64		354	501
65 - 69		324	433
70 - 74		256	337
75 - 79		162	245
80 以上		79	216
小 計		1,175	1,732
合 計		9,753	8,486

●人口と世帯数の推移

(各年10月1日現在)



●昭和59年度一般会計歳入歳出予算

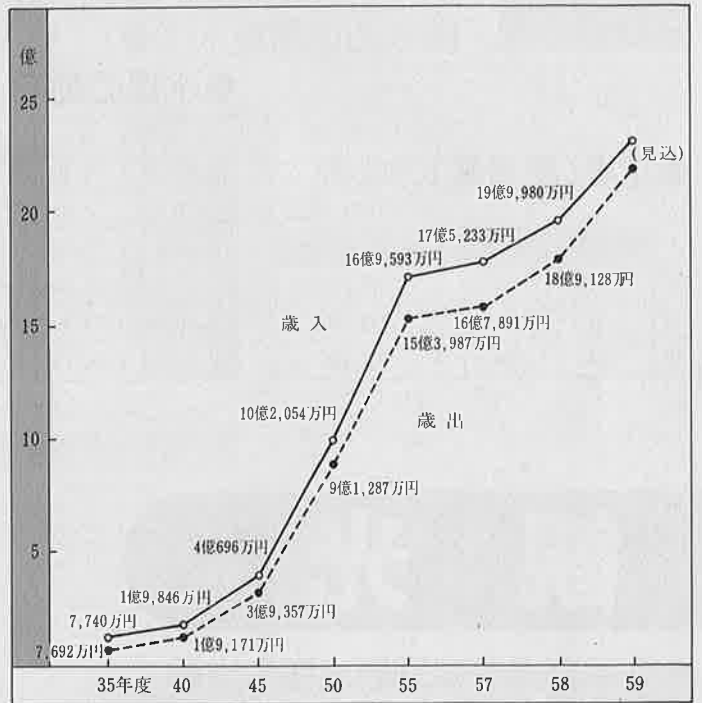


●昭和59年度一般会計予算

歳入 (単位 千円)

科目	年度		比較	
	59年度 当初予算額	58年度 当初予算額	増減額	伸率(%)
1. 町税	501,012	471,151	29,861	6.3
2. 地方譲与税	26,000	25,000	1,000	4.0
3. 娯楽交付金	14,861	9,190	5,671	61.7
4. 自動車交付金	20,300	20,000	300	1.5
5. 地方交付税	430,000	418,000	12,000	2.9
内 普通	430,000	390,000	40,000	10.3
訳 特別	0	28,000	△28,000	△100.0
6. 交通安全交付金	800	800	0	0
7. 分担金・負担金	59,907	71,498	△11,591	△16.2
8. 使用料	7,045	42,115	△35,070	△83.3
9. 手数料	6,550	6,308	242	3.8
10. 国庫支出金	228,724	178,409	50,315	28.2
11. 県支出金	91,641	124,161	△32,520	△26.2
12. 財産収入	44,409	26,198	18,211	69.5
13. 寄付金	5	590	△585	△99.2
14. 繰入金	320,000	0	320,000	0
15. 繰越金	50,000	45,000	5,000	11.1
16. 諸収入	10,488	10,580	△92	△0.9
17. 町債	624,000	98,530	525,470	533.3
合計	2,435,742	1,547,530	888,212	57.4

●一般会計決算額の推移



歳出(目的別) (単位 千円)

科目	年度		比較	
	59年度 当初予算額	58年度 当初予算額	増減額	伸率(%)
1. 議会費	47,495	51,023	△3,528	△6.9
2. 総務費	712,968	246,164	466,804	189.6
3. 民生費	168,262	156,550	11,712	7.5
4. 衛生費	778,045	192,844	585,201	303.5
5. 農林水産業費	140,745	173,173	△32,428	△18.7
6. 商工費	58,048	51,837	6,211	12.0
7. 土木費	135,895	346,138	△210,243	△60.7
8. 消防費	30,047	33,126	△3,079	△9.3
9. 教育費	250,430	193,763	56,667	29.2
10. 災害復旧費	6,125	4,210	1,915	45.5
11. 公債費	106,182	97,202	8,980	9.2
12. 予備費	1,500	1,500	0	-
合計	2,435,742	1,547,530	888,212	57.4

歳出(性質別) (単位 千円)

区分	年度		比較	
	59年度 当初予算額	58年度 当初予算額	増減額	伸率(%)
1. 消費的経費	900,025	912,477	△12,452	△1.4
(1) 人件費	437,956	382,151	55,805	14.6
(2) 物件費	197,030	127,930	69,100	54.0
(3) 維持補修費	4,856	3,710	1,146	30.9
(4) 扶助費	14,680	13,730	950	6.9
(5) 補助費等	240,423	*379,931	△139,508	△36.7
(6) その他	5,080	5,025	55	1.1
2. 投資的経費	1,410,245	522,154	888,091	170.1
(1) 普通建設事業	1,404,120	517,944	886,176	171.1
(2) 災害復旧事業	6,125	4,210	1,915	45.5
3. 公債費	106,182	97,202	8,980	9.2
4. 繰出金	17,790	14,197	3,593	25.3
予備費	1,500	1,500	0	-
合計	2,435,742	1,547,530	888,212	57.4

産 業

●産業別就業者数

(昭和55年国勢調査)

区分	就業者数	総数	男	女
総数		3,944	2,408	1,536
第1次産業		703	427	276
農業		420	206	214
林業・狩猟業		2	1	1
漁業水産養殖業		281	220	61
第2次産業		1,156	794	362
鉱業		0	0	0
建設業		495	433	62
製造業		661	361	300
第3次産業		2,078	1,184	894
卸売・小売業		694	349	345
金融保険業		69	34	35
不動産業		20	16	4
運輸通信業		321	296	25
電気・ガス・水道業		25	20	5
サービス業		840	382	458
公務		109	87	22
分類不能		7	3	4

●農家数の推移

(各年2月1日現在)

区分	種別	年	57	58	59
農家	総数		411	399	391
	専業		28	25	25
	第1種兼業		53	45	29
	第2種兼業		330	329	337
農家人口	総数		1,820	1,751	1,712
	満15歳以下		354	341	333
	満16歳以上		1,466	1,410	1,379
従事者数	総数		1,103	1,068	1,048
	男		568	560	539
	女		535	508	509

※第1種兼業とは農業が主である農家

●経営耕地の推移

(単位 アール)

区分	年	57	58	59
合計		29,931	29,280	29,172
田		23,148	22,428	22,510
	うち休耕地	3,501	2,837	3,242
普通畑		3,626	3,426	3,260
	うち休耕地	426	347	431
牧草専用		1,642	1,703	1,877
果樹園		342	352	382
その他の樹園地		0	11	34
耕作放棄地		1,173	1,360	1,109

(各年2月1日現在)

●経営耕地面積規模別農家数

(昭和59年2月1日現在)

総農家数	アール	10-30 (1反-3反)	30-50 (3反-5反)	50-100 (5反-1町)	100-150 (1町-1.5町)	150以上 (1.5町以上)	例外 規定
391		64	78	182	48	17	2

●工業(製造業)の状況

(各年12月31日現在)

年	事業所数	従業者数	年間製造品出荷額
56	60戸	590人	195,741万円
57	58	554	192,210
58	54	530	222,864

●水揚の動向

区分	年度	56	57	58
水揚置 (ト)	御宿	1,162	775	1,285
	岩和田	516	562	636
	計	1,678	1,337	1,921
水揚高 (ト)	御宿	306,140	246,533	325,160
	岩和田	746,599	747,239	865,991
	計	1,052,739	993,772	1,191,151

●商業の状況

(昭和57年6月1日現在)

分類	商店数	従業者数	年間商品販売額
卸売業	15戸	62人	293,784万円
織物・衣服・身のまわり品小売業	16	46	46,481
飲食料品小売業	79	191	217,607
自動車・自転車小売業	5	10	5,175
家具・建具・じゅう器小売業	16	41	33,555
その他の小売業	37	156	171,624
飲食店	41	93	41,054
合計	209	599	809,280

観 光

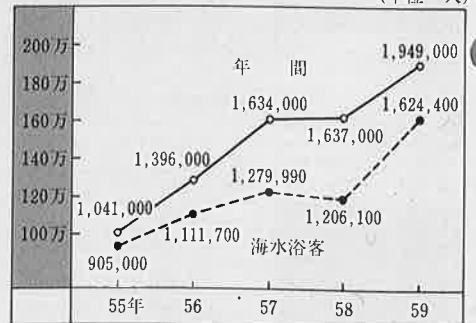
●利用交通機関別観光客の推移

(単位 千人)

年度	国鉄	貸切バス	自家用車	計
55	159	58	824	1,041
56	244	96	1,056	1,396
57	222	165	1,247	1,634
58	216	166	1,255	1,637
59	228	234	1,487	1,949

●観光客の推移

(単位 人)



●宿泊施設の状況

(昭和60年2月1日現在)

地区	ホテル		旅館		民宿			
	軒数	収容人員	軒数	収容人員	年間		季節	
					軒数	収容人員	軒数	収容人員
須賀			7	373	6	144	19	325
浜	2	587	8	485	7	196	67	981
久保			3	192	3	66	16	389
新町			8	496	1	28	21	289
六軒町			1	81	1	15	29	444
岩和田			13	489	14	271	180	2,634
計	2	587	40	2,116	32	720	332	5,062

●町営プール入場者数の推移

年度	入場者			計	入場料
	大人	子供	学割		
55	10,555	10,755	4,081	25,391	8,072,000
56	16,336	16,235	5,318	37,889	12,249,000
57	14,778	15,221	5,792	35,791	11,280,000
58	14,319	13,410	5,519	33,248	10,705,000
59	17,960	15,058	5,051	38,069	12,775,700

生活環境

●道路の状況

(昭和59年4月1日現在)

区分	道路実延長	舗装		改良		橋りょう数	
		延長	率	延長	率		
町道	1級	15,808m	12,437m	79%	12,187m	77%	13
	2級	6,898	6,898	100	6,629	96	8
	その他	233,815	34,582	15	26,033	11	57
	計	256,521	53,917	21	44,849	17	78
県道	12,279	11,841	96	11,482	94	8	
国道	3,755	3,755	100	3,755	100	1	

●交通事故の発生状況

	57年	58年	59年
発生件数	45	34	40
死者数	0	0	0
傷者数	60	43	64

●消防施設

消防ポンプ車	7
水槽付ポンプ車	1
小型ポンプ	3
指揮広報車	1
防火水槽	79
消火栓	52

●ごみ処理状況

区分 年度	全人口 (人)	処理人口 (人)	収集量 (t)	処理量(t)	
				焼却	その他
昭和56年度	8,383	8,383	8,950	6,994	1,956
昭和57年度	8,637	8,637	7,321	6,155	1,166
昭和58年度	8,531	8,531	7,182	6,188	994

●消防団

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
1	2	16	8	9	49	180	265

●し尿処理状況

区分 年度	全人口 (人)	汲取人口 (人)	浄化槽人口 (人)	収集量 (t)	処理量(t)
					処理場処理
昭和56年度	8,383	5,433	2,339	3,678	3,678
昭和57年度	8,637	5,454	2,724	4,179	4,179
昭和58年度	8,531	5,460	2,731	3,761	3,761

●上水道施設の状況

区分	単位	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度
全人口	人	8,383	8,637	8,531
給水人口	人	4,318	4,982	5,252
普及率	%	51.5	57.7	61.6
年間給水量	千m ³	286	357	451
1日最大給水量	m ³	1,694	2,530	2,950
施設能力	m ³ /日	5,985	5,985	5,985

●地目別土地利用状況

(昭和59年1月1日現在 単位m²)

区分	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
課税地	2,977,801	1,281,183	1,248,574	8,497,725	2,712,525	716,906	
非課税地	99,105	21,515	363,530	1,605,276	1,054,920	446,327	4,024,613
計	3,076,906	1,302,698	1,612,104	10,103,001	3,767,445	1,163,233	4,024,613

土地総面積 25.05km²

福祉

●国民年金加入者および受給者

(昭和59年4月1日現在)

加入者			受給者		
強制加入	任意加入	計	拠出年金	無拠出年金(福祉)	計
2,184人	318人	2,502人	1,134人	444人	1,578人

※拠出年金とは、国民年金保険料を納めた人がもらう年金

●無拠出(福祉)年金受給状況

区分	老齢	障害	計
受給者	390	54	444
受給額(単位千円)	105,959	23,716	129,675

●拠出年金受給状況

区分	老齢	通算老齢	障害	母子	遺児	寡婦	計
受給者	966	114	39	12	1	2	1,134
受給額(単位千円)	281,759	13,742	26,170	8,554	311	424	330,960

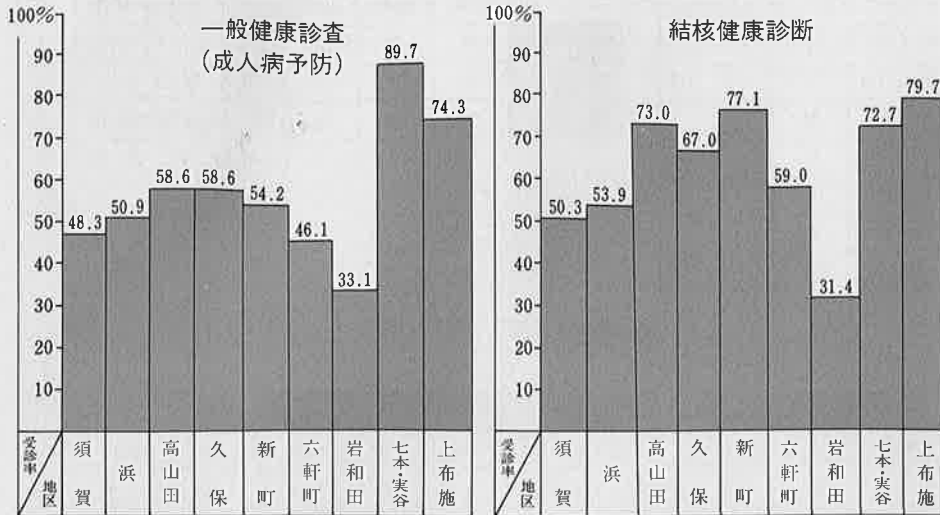
●生活保護の被保護世帯数および人数

(各年4月1日現在)

区分	年	57	58	59
人数	人数	95	89	86
	世帯数	55	52	49

保健・医療

●一般健康診査・結核健康診断地区別受診状況 (昭和59年度)



●昭和59年度 検診・予防接種の状況

検診名	対象者	受診者	受診率
成人病予防	2,719人	1,442人	53.0%
結核	2,973	1,802	60.6
胃がん	2,719	292	10.7
子宮がん	2,950	150	5.1
1歳6ヶ月児	71	62	87.3
3歳児	87	79	90.8

予防接種名	対象者	受診者	受診率
日本脳炎	551人	548人	99.5%
三種混合	131	131	100.0
インフルエンザ	2,858	2,598	90.9
生ワクチン	208	147	70.7
風しん	6	6	100.0
ツベルクリン	477	445	93.3
B・C・G	154	154	100.0
三種混合	517	282	54.5
麻しん	64	55	85.9

●国民健康保険加入者及び給付の状況

年度	区分	加入者		給付額 (単位千円)			
		世帯	加入者	療養	助産・育児	葬祭	計
57		1,643	4,630	368,834	3,030	3,300	375,164
58		1,590	4,509	340,121	2,410	2,700	345,231
59		1,610	4,509	376,297	2,835	2,750	381,882

※59年度は加入者については12月末現在、給付額については見込額です

●医療機関の状況

	病院	一般診療所 (病院を含む)	歯科診療所	薬局
施設数	3	2	4	6
病床数	78	6		

教育・文化

●学校の状況

(昭和59年5月1日現在)

学校名	学級数	児童生徒数			教員数	職員数
		男	女	計		
御宿小学校	13	247	214	461	18	7
布施小学校	7	99	95	194	10	2
岩和田小学校	7	64	60	124	11	4
計	27	410	369	779	39	13
御宿中学校	10	195	185	380	19	6
県立御宿家政高校	9	0	349	349	26	7

●保育所の状況

(昭和59年5月1日現在)

保育所名	組数	入所者数					係母数	調理員数
		2歳	3歳	4歳	5歳	総数		
御宿保育所	9	0	48	60	85	193	12	2
岩和田保育所	4	13	14	46	15	88	5	1

●海洋センター利用状況

※体育館・プール

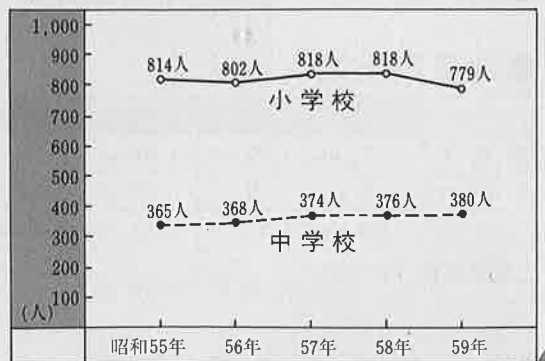
年	開館日数	利用団体数	利用者数	1日平均利用者数
58	301日	46	59,560人	198人
59	299	47	63,336	212

●野球場利用状況

年	利用団体数 (延べ)	うち		利用者数	うち	
		町内	町外		町内	町外
58	126	62	64	4,845	2,426	2,419
59	165	61	104	5,999	2,881	3,118

●児童・生徒数の推移

(各年5月1日現在)



●公民館利用状況

年	開館日数	利用者数	1日平均利用者数
57	302日	31,103人	103人
58	303	33,413	110
59	301	27,531	91

●資料館利用状況

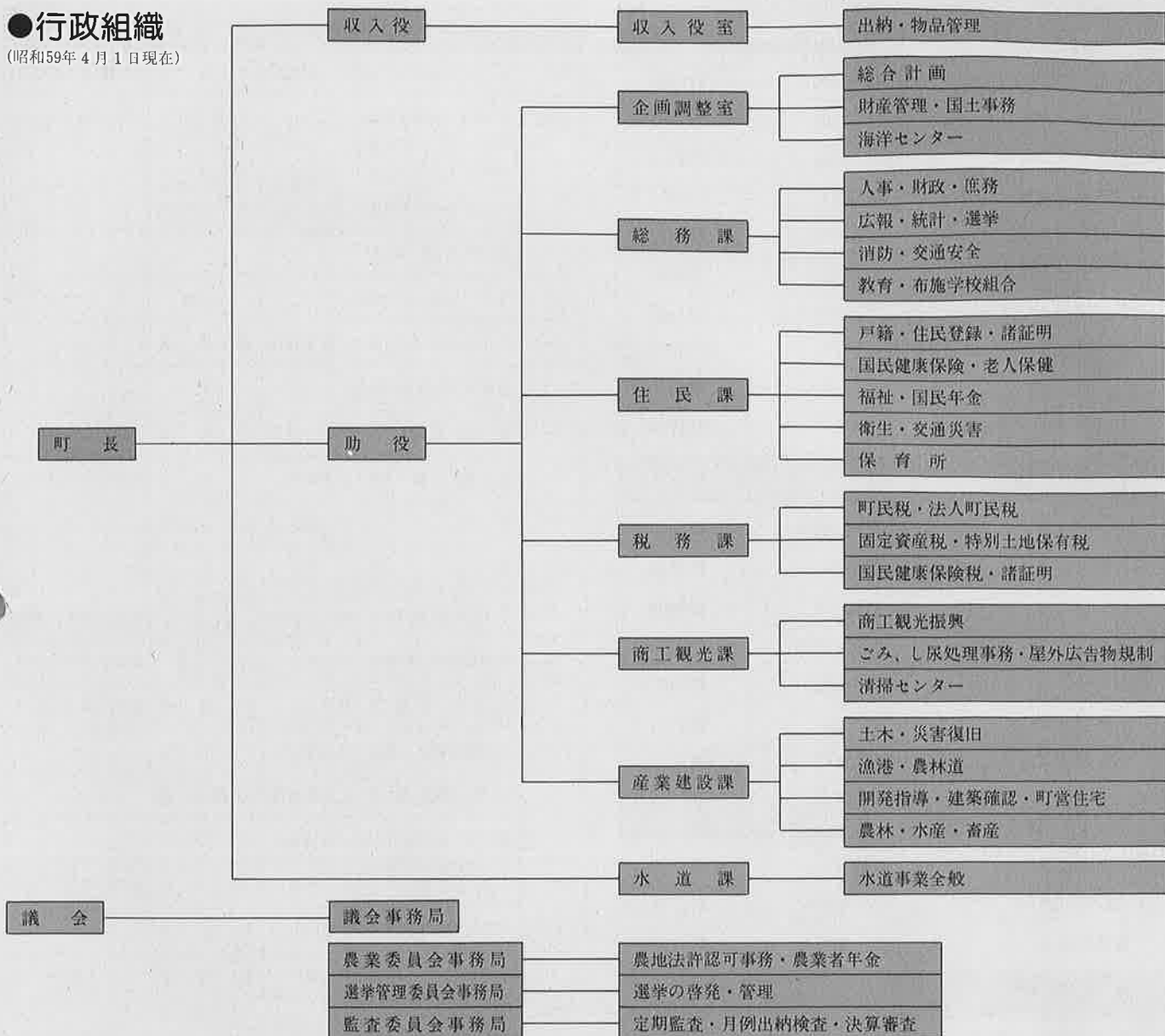
年	開館日数	利用者数	1日平均利用者数
57	302日	1,637人	5人
58	303	1,534	5
59	301	2,142	7

●テニスコート利用状況

年	利用団体数 (延べ)	うち		利用者数	うち	
		町内	町外		町内	町外
58	862	515	347	4,518	2,505	2,013
59	869	410	459	4,189	1,908	2,281

●行政組織

(昭和59年4月1日現在)



歴代町長 (町村合併後)			歴代助役 (町村合併後)			歴代収入役 (町村合併後)		
氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
大地重直	昭和30.3.31	昭和30.5.14	相原誠三郎	昭和30.10.18	昭和38.10.17	相原誠三郎	昭和29.2.13	昭和30.10.17
井上文吉	30.5.15	42.5.14	岩井敏夫	39.1.10	42.4.17	佐藤清司	30.10.18	42.12.19
岩井敏夫	42.5.15	54.5.14	佐藤清司	42.12.20	45.10.31	浅野興典	42.12.20	47.3.31
高梨秀治	54.5.15	在任中	浅野興典	47.4.1	54.5.14	和田正美	47.4.1	54.5.14
			池田覚道	55.3.1	在任中	岩瀬剛	54.7.1	在任中

歴代議長 (町村合併後)			歴代副議長 (町村合併後)		
氏名	就任年月日	退任年月日	氏名	就任年月日	退任年月日
吉野要	昭和30.3.31	昭和32.9.30	渡辺胤生	昭和30.3.31	昭和30.9.30
浅野航海	32.10.1	34.9.30	市東三郎	30.10.1	32.9.30
新井清治	34.10.1	40.9.30	新井清治	32.10.1	34.9.30
関龍雄	40.10.1	44.9.30	岩崎栄一郎	34.10.1	40.9.30
中村喜一	44.10.1	48.10.31	中村喜一	40.10.1	44.9.30
江沢富士松	48.12.4	50.9.30	江沢富士松	44.10.1	48.12.3
岩崎栄一郎	50.10.1	54.9.30	江沢一雄	48.12.4	52.9.17
石田行雄	54.10.1	56.9.30	石田行雄	52.9.17	54.9.30
井上泰爾	56.10.1	58.9.30	井上泰爾	54.10.1	56.9.30
井上浩一	58.10.1	60.3.12	貝塚徳治	56.10.1	58.9.30
白鳥時雄	60.4.16	在任中	藤井昇	58.10.1	在任中

町内の官公署・団体施設所在地

●役場関係

御宿町役場	久保2200	☎2511
公民館	" 2200	☎2947
歴史民俗資料館	" 2200	☎4311
御宿町児童館	新町419	☎4542
岩和田児童館	岩和田788	☎4392
社会福祉協議会	久保2200	☎2511
御宿海洋センター	" 1135-1	☎4143
清掃センター	" 1041	☎4613
浄水場	実谷519	☎4855
町営運動場(管理棟)	久保1135	☎4794

●学校施設

御宿保育所	久保2180	☎2459
岩和田保育所	岩和田926	☎2944
御宿小学校	久保2232	☎2009
岩和田小学校	岩和田1703	☎2254
布施小学校	上布施909	☎2437
御宿中学校	新町68	☎2101
県立御宿家政高等学校	久保1551	☎2911

●警察

駅前駐在所	須賀188	☎2100
六軒町駐在所	六軒町488	☎2719
布施駐在所	上布施875	☎4499

●その他

御宿駅	須賀191	☎2053
御宿郵便局	新町397	☎2871
布施郵便局	上布施1400	☎2870
御宿町漁業協同組合	浜2164	☎2611
岩和田漁業協同組合	岩和田945	☎2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀167	☎2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田1171-3	☎2654
御宿町観光協会	久保2200	☎2414
御宿町体育協会	" 2200	☎2947
御宿町商工会	" 2200	☎2818
御宿町商店振興会	" 2200	☎2818
御宿町婦人会	" 2200	☎2947
御宿町民宿組合	須賀191	☎2325
御宿町旅館組合	" 191	☎4419

※御宿町の市外局番は047068です。

指定文化財

区分	名称	所在地	所有者又は 管理者	指定年月日
県指定	ドンロドリゴ上陸地	岩和田626	御宿町	昭和41年12月2日
町指定	ドンロドリゴ関係遺品 (サンフランシスコ号) ほぼしら2本	久保1916	岩瀬禎之	昭和49年3月27日
"	木造阿弥陀如来座像	浜572-1	妙音寺	"
"	亀甲地双鶴鏡	"	"	"
"	白銅鏡	"	"	"
"	木造大日如来座像	上布施1474	真常寺	"
"	木造如意輪観音座像	"	"	"
"	十王堂縁起	六軒町329	十王堂	"
"	夫婦銀杏	須賀668	最明寺	昭和53年3月27日
"	大ソテツ	" 160-4	御宿町	"
"	双盤	" 668	最明寺	昭和54年6月27日
"	小幡神楽ばやし (無形文化財)		小幡神楽ばやし保存会	昭和57年6月29日
"	高山田神楽ばやし (")		高山田神楽ばやし保存会	昭和57年9月28日
"	千人塚供養塔	新町352	妙昌寺	昭和59年1月11日
"	えん魔胎内像・十王像	六軒町329	十王堂	"
"	伊勢参宮絵馬	上布施1477	八幡神社	"
"	真常寺石塔	" 1474	真常寺	"
"	木造阿弥陀如来並び に両脇侍立像	六軒町329	十王堂	昭和60年2月12日
"	木造阿弥陀如来座像	浜618-1	観音寺	"
"	木造傳祐上人座像	須賀668	最明寺	"

災害時の避難場所

名称	所在地	電話
御宿小学校	久保2085	2009
御宿中学校	新町68	2101
岩和田小学校	岩和田1075	2254
岩和田青年館	" 788	4392
サンドスキー場(避難集合地)	" 1354	
布施小学校	上布施909	2437
実谷区民館	実谷586	5970
八坂神社(避難集合地)	須賀525	
御宿家政高校	久保1551	2911
B & G 海洋センター体育館	" 1135	4143

御宿の唄

♪ 御宿ブルース

作詩／古谷玲児
作曲／八州秀章
唄／すずらん姉妹

- 1、あだし人魚よ 七囀八囀
姿いとしゃ 細がすり
忘れられよか 忘れてなるか
夢の御宿 海女の町 海女の町
- 2、星の数ほど 寄せては返す
色もとりどり 人の波
光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海女の町 海女の町
- 3、月のあかりに 二人の胸に
乱れ咲く花 月見草
行こか砂丘へ 戻ろか宿へ
夢の御宿 恋の町 恋の町

♪ 房州御宿音頭

房州 御宿宝の庫よ
ハソリヤ ドウシタ ドウシタネ
海に銀鱗 海に銀鱗 田に黄金
ハソリヤ ヤツサイ
ヤツサイ ドントネ
房州御宿 網代の浜は
銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜
潮は黒潮 流れて巻いて
風は汐風 風は汐風 恋の風
あんな男を梶子にもって
ぬれて苦労が ぬれて苦労が
してみたい
お前や水底 わしゃ風の中
つなは一筋 つなは一筋
血が通う
板子一枚いといはせぬが
ぬれるお前が ぬれるお前が
いとおいしい
房州御宿旅立つ朝は
雨も降らぬに 雨も降らぬに
袖しぼる
舟は帆まかせ 帆は風まかせ
わたしゃお前の わたしゃ
お前の つなまかせ

♪ 御宿離し

作詩・作曲／加藤まさを
編曲／吉野達弥
唄／中里このえ

- 1、ドンとドンとドンと男波が躍る
躍る男波に抱かれて歌う
女波いとしゃ月夜の晩は
御宿離して浮かれ出す
- 2、山にゃ名物メキシコタワー
浜の砂丘にゃ王子と姫が
月の沙漠を揺られて越える
尙の駱駝の旅姿
- 3、磯の華かよ岩和田の海女は
浮いて泳いで沈んで浮いて
浪がドンと来りゃ乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に
- 4、昼は砂丘に浜昼顔が
夜は砂谷に宵待草が
粋な浜風花から花に
若い二人の燃える頬に
- 5、椰子の葉蔭で佳い夢見たよ
野暮なトウロク 磯パン無しの
可愛い人魚が燦燦岩で
忘れちゃあえねえ また来てね

♪ 月の沙漠

作詩／加藤まさを 作曲／佐々木さぐる

- 1、月の沙漠を はるばると
旅のらくだが 行きました
金と銀との くらおいて
二つならんで 行きました
- 2、金のくらには 銀のかめ
銀のくらには 金のかめ
二つのかめは それぞれに
ひもでおすんで ありました
- 3、先のくらには 王子さま
あとのくらには お姫さま
乗ったふたりは おそろいの
白い上衣を 着てました
- 4、広い沙漠を ひとすじに
ふたりはどこへ 行くのでしよう
おまるにはひる 月の夜を
ついでらくたは どほとほと
砂丘を越えて 行きました
たまって越えて 行きました



●1985御宿町勢要覧



- 発行／千葉県御宿町
- 編集／御宿町総務課
- 制作／株式会社きようせい